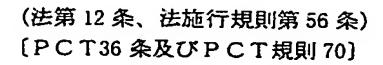
# 特許協力条約

### PCT

## 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)





出願人又は代理人 の <b>告</b> 類記号 P36400-P0	今後の手続きにつ	いては、様式	PCT/I	PEA/416	を参照する	ちこと。	
国際出願番号 PCT/JP2005/000086	国際出願日 (日.月.年) 06	. 01. 20	0 5	優先日 (日.月.年) 2	23.01.	2004	
国際特許分類(IPC) Int.Cl. G11B20/14	(2006.01), G11B20	/10 (2006. 01)	, HO4L7/0.	2(2006.01), HO	4L25/497 (2	2006. 01)	
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		•					
1. この報告書は、PCT35条に基づきこ 法施行規則第57条 (PCT36条)の 2. この国際予備審査報告は、この表紙を	現定に従い <del>送</del> 付する 含めて全部で	週で作成され 。 4	た国際予備		O .		
3. この報告には次の附属物件も添付され a. M属書類は全部で 9	ページであ						
☑ 補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(P	とされた及び/又( CT規則 70.16 及び	はこの国際子( 『実施細則第 6	備審查機関 307 号参照)	が認めた訂正を	含む明細書	が、請求の範	
□ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
b. 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すよ (実施細則第802号参照)	うに、電子形式によ	る配列表又に	は配列表に関	(電子媒体 <u></u> 関連するテープ	の種類、数ルを含む。	でを示す)。	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含							
<ul> <li>第 I 欄 国際予備審査報告</li> <li>第 II 欄 優先権</li> <li>第 II 欄 新規性、進歩性又</li> <li>第 IV欄 発明の単一性の欠</li> <li>第 V欄 P C T 35条(2)に対けるための文献及</li> <li>第 VI欄 ある種の引用文献</li> </ul>	は産業上の利用可能如 知 見定する新規性、進 び説明					<b>いを裏付</b>	
「第VI欄 国際出願の不備 「第VI欄 国際出願に対する	意見						
国際予備審査の請求書を受理した日 18.11.2005		国際予備審査	報告を作成 5.01.				
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915		寺許庁審査官 小林		る職員)	5 Q	9848	
東京都千代田区霞が関三丁目 4番3	電話番号 03-3581-1101 内線 3591						

1. 書籍に関し、この予価等差報告は以下のものを基礎とした。  「P. 出版時の音話による国際出版 「E. 出版時の音話による国際出版 「正 出版時の音話である」	第1欄報告の基礎	A
<ul> <li>☑ 出稿時の言語による国際出館</li> <li>□ 出稿時の言語から次の目的のための言語である</li> <li>□ 国際の音 (PC T規則12.3 (a) 及び23.1 (b))</li> <li>□ 国際公園 (PC T規則12.4 (a))</li> <li>□ 国際公園 (PC T規則12.4 (a))</li> <li>□ 国際公園 (PC T規則12.4 (a))</li> <li>□ 国際公園 (PC T規則15.2 (a) 又(155.3 (a))</li> <li>2. この報告は下記の出願書領を基礎とした。(法第6条 (PC T 14条) の規定に基づく命令に応答するために提出さた差替え用紙は、この報告において「出願時」をし、この報告に終付していない。)</li> <li>① 労婦律</li> <li>第 1-2.4.6-12</li> <li>第 3.3/1.5.5/1</li> <li>※ 少・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第2-3,13</li> <li>項・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第2-3,13</li> <li>項・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第2-3,13</li> <li>項・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第2-3,13</li> <li>項・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第2-3,13</li> <li>項・18.11.2005</li> <li>付けで国際子備審支機関が受理したもの第3-1-5</li> <li>一位の第3-1-5</li> <li>一位の第3-1-5</li> <li>一位の第4-200</li> <li>一位の第5-200</li> <li>一位の第5-200</li></ul>	1. 宮語に関し、この予備審査報告は以下のものを	基礎とした。
□ 国際公開 (PC 丁規則は2 4(a) 及(P23.1(b)) □ 国際公開 (PC 丁規則は2 4(a)) □ 国際公開 (PC 丁規則は5.2(a) 又(155.3(a)) 2. この報告は下贮の出顧審頭を基礎とした。 (法第6条 (PC T14条) の規定に基づく命令に応答するために提出さた差替え用派は、この報告において「出額時」とし、この報告に添付していない。) □ 出顧時の国際出願登費 □ 明細書 □ 第 1-2、4、6-12 ページ、出願時に提出されたもの □ 第 3、3 / 1、5、5 / 1 ページ*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 3、3 / 1、5、5 / 1 ページ*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 1、4-12 項、出題時に提出されたもの 第 2-3、13 項*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 2-3、13 項*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 4、	· —	
□ 国際公開 (PC 丁規則は2 4(a) 及(P23.1(b)) □ 国際公開 (PC 丁規則は2 4(a)) □ 国際公開 (PC 丁規則は5.2(a) 又(155.3(a)) 2. この報告は下贮の出顧審頭を基礎とした。 (法第6条 (PC T14条) の規定に基づく命令に応答するために提出さた差替え用派は、この報告において「出額時」とし、この報告に添付していない。) □ 出顧時の国際出願登費 □ 明細書 □ 第 1-2、4、6-12 ページ、出願時に提出されたもの □ 第 3、3 / 1、5、5 / 1 ページ*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 3、3 / 1、5、5 / 1 ページ*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 1、4-12 項、出題時に提出されたもの 第 2-3、13 項*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 2-3、13 項*、18、11、2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 4、	出願時の言語から次の目的のための言語で	である。 「毎に御知される」。「毎年…」
2. この報告は下記の出願審領を基礎とした。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出さた差替之用紙は、この報告において『出願時』とし、この報告に続付していない。 )  「出願時の国際出願審類  「明細審  第1-2,4,6-12  第3,3/1,5,5/1  ページ*、18,11,2005  付けで国際予備審査機関が受理したもの第2-3,13 項*、18,11,2005  (付けで国際予備審査機関が受理したもの第2-3,13 項*、18,11,2005  「付けで国際予備審査機関が受理したもの第2-3,13 項*、18,11,2005  「付けで国際予備審査機関が受理したもの第2-3,13 項*、18,11,2005  「付けで国際予備審査機関が受理したもの第1-5  「四面  第1-5  「一定別表に関連するテーブル (具体的に記載すること)  「記別表に関連するテーブル (具体的に記載すること)  「この報告は、補定欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した権正が出願時における開示の範囲を超えていたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(a))  「明細審 第	国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23. 国際公開 (PCT規則12.4(a))	1(b))
<ul> <li>□ 出版時の国際出版書報</li> <li>□ 明細書</li> <li>第 1 - 2 , 4 , 6 - 1 2</li></ul>		
<ul> <li>□ 出版時の国際出版書報</li> <li>□ 明細書</li> <li>第 1 - 2 , 4 , 6 - 1 2</li></ul>	2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。 (法	第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出さ
<ul> <li>         対</li></ul>	でとしているは、この報告において「出願時」。	とし、この報告に添付していない。)
第 1-2, 4, 6-12	こ出願時の国際出願書類	
第 1-2, 4, 6-12	TZ: R8 4m <del>th</del>	
第3、3 / 1、5、5 / 1		
第3、3 / 1、5、5 / 1	第 1-2, 4, 6-12	ージ 中属時に担いる ニュー
第	AT 0 0 1	
請求の範囲		-ジ*、18.11.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 1, 4-12 項、出願時に提出されたもの 項*、PCT 19条の規定に基づき補正されたもの 項*、18.11.2005 付けで国際予備審查機関が受理したもの 項*、18.11.2005 付けで国際予備審查機関が受理したもの 項*、		、1717で国際予備審査機関が受理したもの
第		
第 2-3, 13	44	項、出願時に提出されたもの
図面	AT 0 0 - 0	頃*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 頃* 18 11 2005 (1)
<ul> <li>図面</li> <li>第 1-5</li> <li>第 1-5</li> <li>第 1-5</li> <li>(一ジ/図*)</li> <li>(付けで国際予備審査機関が受理したもの年)</li> <li>第 20回来</li> <li>(付けで国際予備審査機関が受理したもの存)</li> <li>(付けで国際予備審査機関が受理したもの存)</li> <li>(日本の利力をに関する補充欄を参照すること。</li> <li>(日本の利力をは関連するを参照すること)</li> <li>(日本の利力をは関連するを参照すること)</li> <li>(日本の利力をは関連するテーブル(具体的に記載すること)</li> <li>(日本の利力をは、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))</li> <li>(日本の知事を定しておよりには関連するので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))</li> <li>日本の利力をに関連するテーブル(具体的に記載すること)</li> <li>日本の利力をに関連するテーブル(具体的に記載すること)</li> <li>日本の利力をに関連するテーブル(具体的に記載すること)</li> </ul>	第	項*、10.11.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの項*、
第 1-5	<del></del>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
第 ページ/図*	Arts	
# ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 配列表に関連するテーブル 配列表に関連する権権を参照すること。  「 補正により、下記の書類が削除された。 「 明細書 第 ページ 項	A**-	
<ul> <li>配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。</li> <li>補正により、下記の書類が削除された。</li> <li>明細書 第</li></ul>	第ページ/	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
配列表に関する補充欄を参照すること。  「 補正により、下記の書類が削除された。 「 明細書 第		
□ 配列表 (具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) □ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c)) □ 明細書 第	<ul><li>補正により、下記の書類が削除された。</li><li>明細書 第</li><li>請求の範囲 第</li></ul>	項
□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) □ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) □ 明細書 第		<u></u> ページ/図
□ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) □ 明細書 第		虚すること)
明細書 第		
明細書 第		
明細書 第	・ この報告は、	与に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
請求の範囲       第       項         図面       第       ページ/図         配列表(具体的に記載すること)       配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	····	パされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
第 第 項 項 図面 第 第 ページ/図 配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	2/7	<u> </u>
配列表(具体的に記載すること)		
・ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	□ 配列表に関連するテーブル (目 bt b) に 20 #	
. に該当する場合、その用紙に"superseded"と記入されることがある。	- 一	すること)
・に該当する場合、その用紙に"superseded"と記入されることがある。		
」に該当する場合、その用紙に"superseded"と記入されることがある。		
1. に該当する場合、その用紙に"superseded"と記入されることがある。		
・ に吸当する場合、ての用紙に "superseded" と記入されることがある。	4 に該当士ス坦ム・スの中が、 **	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)

請求の範囲 2-4, 7-13

請求の範囲 1, 5-6

進歩性(IS)

請求の範囲 2-4, 9-12

請求の範囲 1,5-8,13

産業上の利用可能性 (IA) 請求の範囲 1-13

請求の範囲

## 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 2000-243034 A (富士通株式会社)

2000.09.08

文献2:JP 2001-195830 A(松下電器產業株式会社)

2001.07.19

文献3: JP 11-339395 A (ソニー株式会社)

1999. 12. 10

## 請求の範囲1,5-6

文献1には、クロック再生用の等化器とデータ再生用の等化器を備えた構成が記載 され、さらに、該両等化器は適応型トランスバーサルフィルタである構成が記載され ている。

### 請求の範囲7

A/D変換器の垂直分解能は、当業者が適宜定める設計的事項である。

## 請求の範囲8

データの検出器(復号器)としてビタビ復号器を用いることは、当業者にとって自 明な事項である。

### 請求の範囲13

文献 2 には、波形等化処理を行う前にオフセット補正を行う構成が記載されてい る。

文献2記載のオフセット補正手段を文献1記載の構成に付加した構成が、請求の範 囲13に係る発明に含まれることは当業者にとって自明なことである。

補充柵

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲2-4, 9-12

波形等化器の出力信号に基づいて、波形等化器の出力信号と適応型トランスバーサルフィルタの入力信号に対しベースライン制御を行う構成は、国際調査報告に引用された文献及び国際予備報告で新たに引用された文献3のいずれにも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。